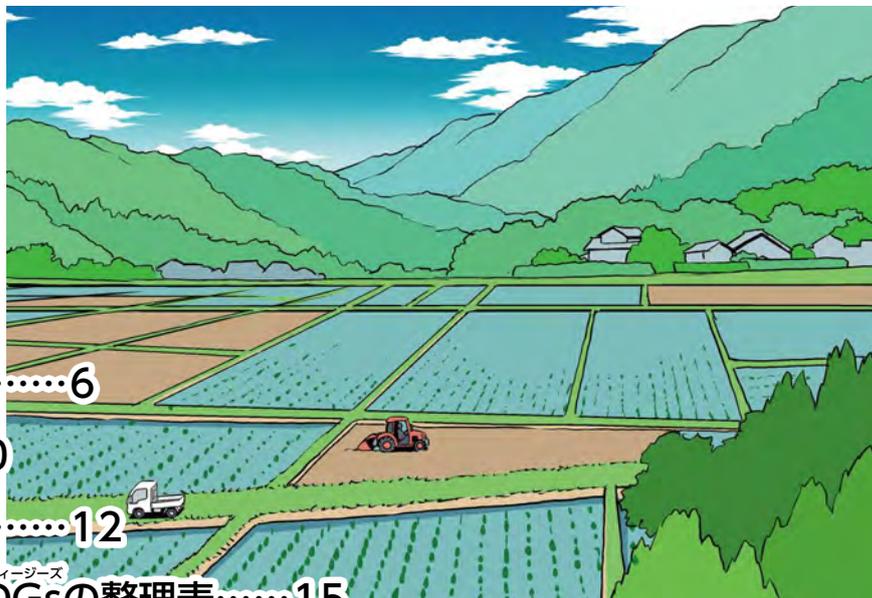


く さ か
草刈りは
す く
地球を救う

エスディー・ジーズ
～SDGs達成につながる
農村の共同活動～



もくじ



1 ミノルの村たんけん……3

2 みんなで草刈り・泥上げ作業……6

3 田んぼの生きもの調査……10

4 クリーン作戦、フラワー作戦……12

資料 多面的機能支払の活動とSDGsの整理表……15

農村へ行こう！親子で学校で会社のみんなで
共同活動に参加しませんか？……19

主な登場人物



町田ミノル

好奇心おうせいな小学5年生の男の子。都会から引っこしてきたばかり



農家の木村さん

農作業や祭りなどの共同活動を引っ張るリーダー



木村さんの奥さん

活発でさまざまな行事に積極的に参加する女性



はな

活発な小学4年生の女の子

まんが・イラスト／イセケヌ
図／つるおかめぐみ／(株)リトマス
構成／佐々木里子
デザイン／谷由紀恵

編集／(株)スリーシーズン
制作／NHKエデュケーショナル
農林水産省補助事業
2024年3月 発行

1 ミノルの村たんけん

行ってきまーす

ミノル～！
お昼には帰って
きなさいね～

ぼくはミノル
小学5年生！

ビルが立ちならぶ都市から
きのう引っこしてきたんだ

広い田んぼだな～
よーし！村じゅうを
たんけんするぞ！

！

あそこ にぎやかだな
何やってんだろ？



ふ〜今日は暑くて
まいるね
休けい休けい

あと少しだな

木村さん
おつかれ!

みんなおつかれさま!
今トウモロコシ
ゆでてるからね〜

えっトウモロコシ!?
おいしそう〜

カ
ア

カ
ア

!



あれ? 見かけない顔だね
こっちへおいで

ほ、



ほら
はなちゃんも
おいでよ

はい!
木村さん
こんにちは!

あ、わたし
はな!
よろしくね♪

わ
わ



!?

あ…
どうも



ぼ ぼく
町田ミノルです



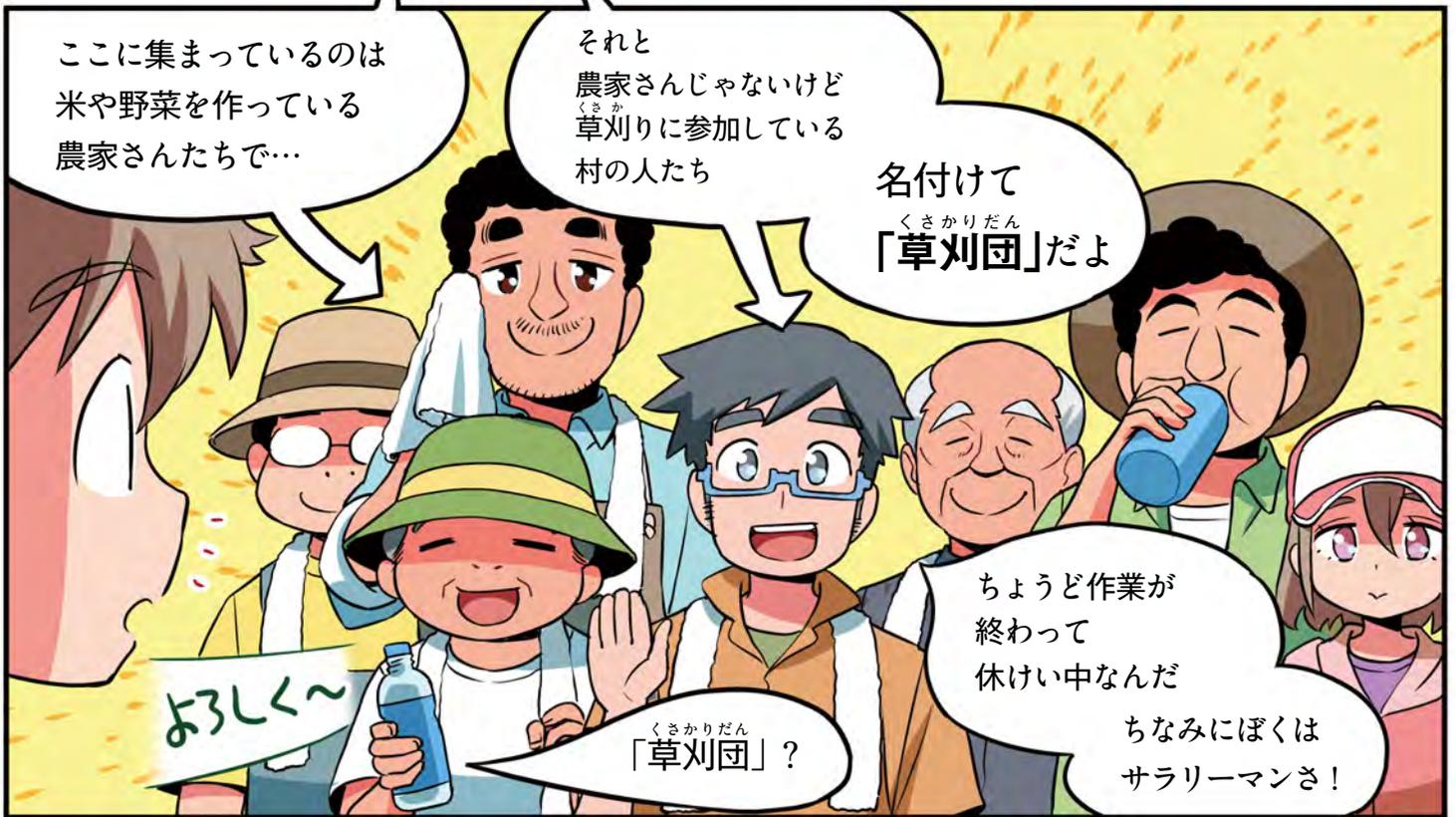
おおぜい
大勢集まっているけど
お祭りですか…?



ああ
新しくこしてきた
町田さんの
ところの子だね!



今日は村のみんなで
田んぼのあぜや水路
農道の草刈り
だったんだよ!



ここに集まっているのは
米や野菜を作っている
農家さんたちで…

それと
農家さんじゃないけど
草刈りに参加している
村の人たち

名付けて
「草刈団」だよ

ちょうど作業が
終わって
休けい中なんだ

ちなみにぼくは
サラリーマンさ!

よしくん~

「草刈団」?



みなさ~ん!
トウモロコシが
ゆであがりましたよ~

トウモロコシ!?
ミノル君
いっしょに食べよ!

こうしてなんか
みんなの仲間に入れて
もらうことになったぼく

でも草刈団って何?
農家じゃない人って
どういうことだろ?
なぞだ…

2 みんなで草刈り・泥上げ作業



木村さん、草刈団ってなんですか？

農家が中心になって、地域の人たちと共同で草刈りをする、最強草刈り軍団だ！



へえ。でも、なんで草刈りをするんですか？

▶ 田んぼのしくみ

その答えは、田んぼのしくみにあります。

田んぼは、君たちが食べているごはん、つまりお米をとるための稲を育てる場所。稲は、必要なときに水が田んぼに貯まっていないと育ちません。そのため田んぼは、効率的に水を入れたり排出したりできるようになっています。

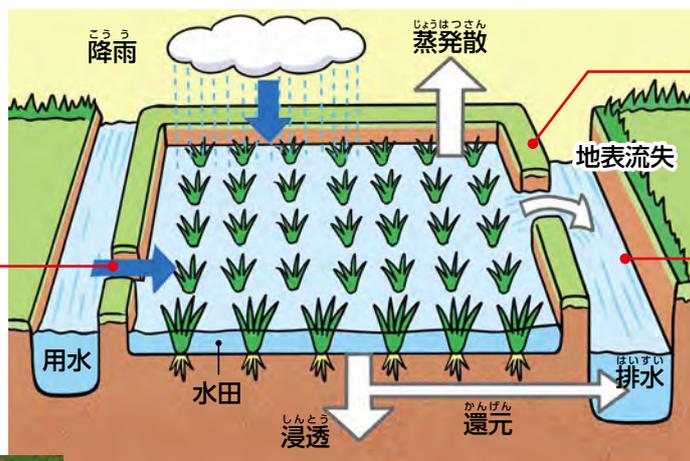


稲の実がお米だよ



用水路

川などから田んぼに水を引き入れる、水の通り道



あぜ

田んぼを土で囲い、水を貯める

排水路

田んぼで余分になった水を川などに流しもどす、水の通り道



水路、農地周辺の草刈り

あぜや水路の周辺は、放っておくと草が生えてきます。草はそのままにしておくと、水路の水の流れをさまたげるだけでなく、草の根っこがあぜや農道をこわしてしまいます。また、病虫害の原因にもなります。そこで、農家の人々はこの水路や農道、農地を守るために、田んぼのあぜや農道の草刈りをしています。



田んぼでお米はどのように育つのでしょうか？
動画「米を作る田んぼ」(約2分)が見られます。



田んぼを囲む「あぜ」がどんなものか、調べましょう。
動画「田んぼに水がたまるのは？」(約1分)が見られます。

だから草刈りをしていったんだ！



くさか 草刈りの方法

地域共同の草刈りは一般的に、春の農作業を始める前に1回、夏の草が良く育つ時期に2回、そして、稲刈りが終わったあとに1回の、1年に4回ほど行います。(地域によって異なります)



広い道路に面した部分は、トラクターで刈る場合もありますが、多くの部分は人が草刈り機でいねいに刈ります。



くさか 草刈りって大変なんだな

この村には30ヘクタール、小学校のプール1,000個分の広さの田んぼがあるんだ



水路等を守る共同作業

以前は、農村のみんなが農家だったので、それぞれに農作業をしたり、みんなで地域の草刈りなどをしたりしていました。ところが、1人が耕す田んぼや畑の面積が広がったことや効率的な農機具、非農家(農家ではない人たち)が増えたため、村中の農地のまわりの草を刈ったりすることがむずかしくなってきました。「このままだと、村の田んぼがなくなってしまう」「農業が続けられなくなる」という地域の人たちが、共同で草刈りや泥上げなどの作業することにしました。特に、地域の草刈りなど大勢の力が必要な作業には、農家以外の人たちにも入ってもらっているのです。

それが“草刈団”なんだ!



ちょっと寄り道

サラリーマンの村上さんの話

ぼくは引っ越してきた3年前から草刈団の団員になったんだ。最初はちょっと「めんどくさい」って思ったけど、体を動かすのは気持ちいいし、成果が目に見えてスッキリするんだ。それに、みんなで使う水路や田畑は大事だし、みんなの役に立つって考えると、今ではやりがいを感じているよ。



水路を守るために村が共同で行う農作業には“泥上げ作業”も欠かせません。毎年春、用水路に貯まった泥やごみを上げて水の流れをよくします。田んぼの水は川などから用水路を通して田んぼに入れていきます。1か所でもつまると水があふれたり、作物が育たなくなったりして大変です。そこで泥上げ作業は、同じ用水路を使っている近くの村の人とも協力して行われます。

6ページの「田んぼのしくみ」も見てね



水路の泥上げ

田んぼの機能

草刈りや泥上げの共同作業が水路を守り、田んぼの良い状態を維持しています。



いいこと？

田んぼで米を作っていると、いいことがたくさんあるんだ

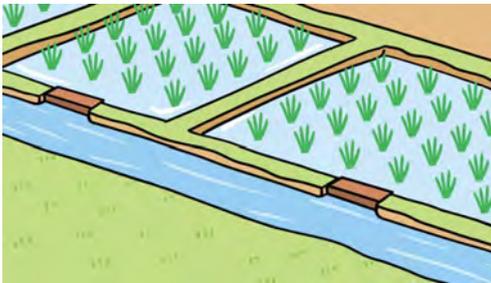


田んぼや畑には米などを作るだけではない、いろいろな機能があります。これを「多面的機能」とよんでいます。たとえば田んぼの場合――



例

●水を貯める機能

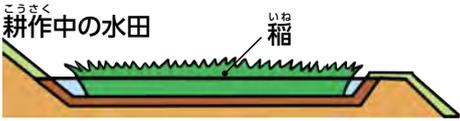


田んぼは土を盛り上げてつくった“あぜ”で囲まれているので、水を貯めることができます。そのため、大雨のとき、雨水を一時的に貯めて、時間をかけてゆっくりと川の下流へ水を流し、洪水を防ぐことができます。

全国の田んぼで、東京ドーム4,000ばい分の水を貯めることができるんだよ



●土砂くずれや水害の防止



大雨が降ると、斜面がくずれる場合があるよ

使われなくなった田畑は、雨水を貯める機能が弱まり、大雨などで地下水が一気に増えて土砂くずれや水害を引き起こしやすくなります。農業を続けていくことで、土砂くずれを防ぐことに役立ちます。

●地下水をつくる(かん養)



河川に還元

下流の地域では、わたしたちの暮らしに使う水や工場などで地下水をくみ上げて利用しています。田んぼに貯まった水は、ゆっくりと地下にしみこみ、地下水が減少するのを防いでいます。

田んぼがわたしたちの暮らしにどう役立っているかを調べましょう。
動画「暮らしを守る田んぼ」(2分30秒)が見られます。



田んぼをずっと守ることが大切なんだね